



ゴロスケ報々



●横浜自然観察の森ボランティアまつり 報告●

友の会活動報告

「森のボランティアまつり」 10月26日(日)

参加者 6名(大人4名 子ども2名) スタッフ22名

友の会紹介の紙芝居のあと、全員で畑へ移動し落花生の収穫です。実は9月の定例会前に畑PJの落合さんから「畑のサツマイモが誰かに食べられ全滅」というショッキングな報告がありました。定例会では「サツマイモを購入してみんなで焼き芋を作ろう」という苦肉の策を打ち出しました。ところが今年は参加者が少ないので、残っている落花生を収穫することになりました。落花生のほかにはわずかに生き残ったサツマイモも収穫できました。畑の後は各PJのミニ体験です。昼食時にはZFCのコースター作り。参加者以外にスタッフも列をつくりました。

会員の皆様、ご苦労様でした。それにしても、参加者をもっと増やすにはどうしたらいいのでしょうか？

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●2014年度「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」の報告●

2014年11月2日(日)・3日(月:祝) 9時30分～16時(二日間コース)

インタープリテーションの基本を学び、横浜自然観察の森での活動仲間を増やす目的で毎年実施しているもの。

当初5名の参加申し込みがあったが、直前のキャンセルが入り参加者は2名。

(一日目) 自然のメッセージを受け取る多様な視点に気づこう、(二日目) 自然のメッセージをわかりやすく伝えてみよう、という内容で実施した。

参加者のうち1名は、12月からガイドウォーク「季節の森を歩こう」の活動にお試し参加中。

現在は、HP、野鳥誌(日本野鳥の会)、自然保護(NACS-J)、CONE メーリングリストによる広報であるが、今後は地元のタウン誌なども使った案内も考えたい。

担当: 森の案内人・ハンミョウの会

●11月理事会報告●

事務局からのお知らせ

日時 2014年11月16日(日) 9:30～11:35

出席者 青木、漆原、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、中塚、山口、吉田、古南 R

(欠席: 秋元、村松)

1 中間報告

- ・事業及び会計について中間報告がありました。

2 次年度事業方針

- ・2015年3月が開園30周年のため周年事業は2016年度実施、2015年度は計画・準備に協力していきます。
- ・次期中期計画(2016-19)策定は前回同様、定例会で検討し理事会で確認する方式とします。
- ・総会・望年会の日程(4月5日、12月23日)を確認しました。
- ・ボランティアまつり(一般向け)の継続を確認、時期・名称等は次回検討します。
- ・事務局内調査グループのPJ化について、各PJから1名の理事選出は必須ではないこと等を確認しました。
- ・森のボランティア体験の回数は、現状維持をセンターに要望しました。

3 安全管理

- ・継続的に啓発する仕組みや毎年の講習等実施の必要性を確認しました。
- ・今年度分の講習等について、今回出た材料を参考に次回までに企画します。

4 その他

- ・センターからレンジャー異動について報告がありました。

<次回理事会>

日時 1月18日(日) 9:30～12:00

場所 自然観察センター研修室

- 議題
- 1 次年度計画
 - 2 定期総会準備
 - 3 利用推進会議(後期)
 - 4 安全管理
 - 5 その他

●11月定例会報告●

日 時 2014. 11. 16 13:00~15:00

出席者 山口、大浦（議長）、中里、関根（書記）、片岡、青木、落合、吉田、篠原
渡部、次田、高橋、古南R

議事

- 1 友の会の10月からの行事報告、プロジェクト報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。
- 2 2月までの友の会の行事予定を確認しました。
- 3 ごろすけ館の使用予定を確認しました。
- 4 事務局より
 - ・調査グループの活動報告と活動予定を確認しました。
 - ・12月23日（祝・火）の「望年会」の役割分担をしました。
 - ・各PJ&調査グループへ来年度の行事予定の提出をお願いしました。
※1月9日までに提出です。各PJでの話し合いをお願いします。
- 5 センターより
 - ・工事関係
 - 10月上旬から広域水道企業団の耐震工事が始まりました。2年程かかるようです。その間ピクニック広場は使用できません。その他野外トイレの改修、ゲンジの谷・コナラの谷木道改修、クヌギの林階段補修、モンキチョウ広場浸食対策、野外展示改修については、わかり次第情報を流します。
 - ・新レンジャー
 - 11月1日、藤村啓レンジャーが東京港から異動してきました。

(お知らせ)

2015年のカレンダーを販売しています。
購入がまだの方、お急ぎください。
1部1000円

<次回の定例会>

1月18日（日）13:00からセンター研修室。

定例会は、会員の皆様どなたでも参加できます。

●森の作業体験(間伐体験)●

友の会行事のお知らせ

森の木を鋸で安全に切り倒します。いい汗をかいてください。道具、安全具は用意します。

1日時 : 2015年 1月24日（土曜日）9時から13時まで

2集合時間・場所 : 横浜自然観察の森 センター前 9時

3参加条件 : 小学生以上 中学生以下の方は 保護者同伴。先着10名様

4服装 : 作業可能な服装（長袖、長ズボン）、軍手、スニーカー、帽子

5申し込み方法 : 参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入して

電話 045-895-5151 E-Mail: yokohama-nc@wbsj.org

6その他 : 昼は味噌汁をだします。おにぎりなどをご用意ください。

担当：雑木林ファンクラブ

●森の作業体験(ドラム缶窯での炭焼き体験)●

ドラム缶窯での炭焼きを体験ください。原木は装荷してありますので、着火から途中の温度コントロールまでが主な体験となります。ぜひご参加ください。

1日時 : 2015年 2月21日（土曜日）9時から13時まで

2集合時間・場所 : 横浜自然観察の森 センター前 9時

3参加条件 : 小学生以上 中学生以下の方は 保護者同伴。先着15名様

4服装 : 作業可能な服装（長袖、長ズボン）、軍手、スニーカー、帽子

5申し込み方法 : 参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入して

電話 045-895-5151 E-Mail: yokohama-nc@wbsj.org

6その他 : 昼は味噌汁をだします。おにぎりなどをご用意ください。

担当：雑木林ファンクラブ

歌の中の鳥たち

いろいろな歌の中にも。鳥たちが登場します。そんな歌を検証してみたいと思います。まず1曲目。

「カラスなぜ鳴くの カラスは山に かわいい七つの子があるからよ・・・」 童謡「七つの子」(1912年 野口雨情 作詞)おなじみの童謡です。さて問題はこの「七つの子」です。「七つ」とはいったい何を指しているのでしょうか。考えられる一つ目は、「子ども(雛)が七羽いる」という意味。が、しかしカラス(ハシブトガラスもハシボソガラスも)は一度に産む卵の数は3~5個。7個という例はないようです。ですから、七羽の雛はちょっとおかしい。では「7歳の子ども」では? しかしカラスの7歳はりっぱな大人(成鳥)。むしろ高齢のカラスです。では、「七つの子」とは?

では2曲目です。

「夕焼け空がまっかか トンビがくるりと輪をかいた ホーイのホイ・・・」(1958年 三橋美智也 歌 「夕焼けトンビ」) えっ古いって。そうなんです、私も母に聞かされた歌です。

トンビとはトビの俗称です。もしかするとトンビの方が、おなじみかもしれません。

トビが飛んでいるのを見たことがありますか。ほとんど羽ばたきをしないで飛んでいます。この気流を利用した飛び方を、ソアリング(帆翔=はんしょう)といいます。トビがまさにくるりと輪をかくように飛んでいるのは、上昇気流の縁にそって飛び、高度を上げているからなのです。まさに省エネ飛行ですね。

最後の曲は

「季節にそむいた冬のツバメよ 吹雪に打たれりゃ寒かろうに ヒュルリ ヒュルリララ・・・」(1983年 森昌子 歌 「越冬ツバメ」)

ツバメは夏鳥です。関東地方では3月~4月に渡ってきて繁殖し、9月~10月には越冬地の東南アジアやオーストラリアへ渡っていきます。歌詞は吹雪の中を飛んでいるツバメ。いやー北国の寒さが伝わってきますよね。しかし、しかしです。ツバメの中には確かに越冬するものもいるんだそうですが、その記録のほとんどが関東地方以南。つまり冬でも温暖な地方のようなのです。そうすると、吹雪の中を飛ぶツバメって・・・?

中里

●森の作業体験(炭焼き体験) 報告●

9月27日～28日、一般参加者は男性1名。
27日朝9時に大窯点火、11時にドラム缶窯点火。
ドラム缶窯は27日20時に窯閉め。大窯は28日13時に窯閉め。
この体験をされた方は後日、友の会およびZFCに入会された。

担当：雑木林ファンクラブ

定例行事の報告

●定例行事の報告「森の案内人・ハンミョウの会」●

今年最後のガイドウォーク「季節の森を歩こう」を12月7日(日)に実施しました。
11時～12時、13時～14時と、二回実施していますが、今日は午前約20名、午後約10名の参加者がありました。

このような当日参加型のガイドウォークの難しさの一つは、どのような年齢で、どの程度生きものや生態系に理解のある方が来るかが事前に全くわからないことです。

未就学の小さなお子さんと一緒の家族連れ、年配者のご夫婦やお友達、それに大学などで専門にこの分野を勉強している大学生など。

実は、大人だけを相手にしたインタープリテーションは比較的やりやすいのですが、実は「二番目に難しい」のが小さな子どもの参加者がいる時です。

そんな時、いつでも大事にしていることがあります。インタープリテーションを志す人たちのバイブルとも言える Freeman Tilden の Interpreting Our Heritage にある次の言葉です。

Interpretation addressed to children (say, up to the age of twelve) should not be a dilution of the presentation to adults, but should follow a fundamentally different approach. To be at its best it will require a separate program.

子どもたちは、目の前の関心に夢中で、それが面白ければグイグイのってくるし、退屈ならすぐに別のものに注意を移しますから。

ところが、参加者数が多ければ、大人だけの班と家族連れの班にわけて違ったプログラムにするということもあるのですが、

私たちのガイドウォークは、普通は一グループで実施しますので、お父さんお母さんを含めた一般の大人の方々の期待も同時に満たさなければなりません。

その意味で、大人と子どもが混在するインタープリテーションが「一番難しい」と言えます。

そのポイントは、生きものの生態やつながりを、大人でも楽しめたり新たな発見を見つけられるようなレベルから下げることなく、子どもたちにもわかるやさしい言葉で、好奇心を引き付けるように、触ったり、匂いを嗅いだりという体感とともに理解してもらうことです。

でも、やさしく表現するというのは、内容をしっかり理解していないとできないことなので、私たちにとってはとても大きなチャレンジです。

参加者たちと1時間の散歩をして、最後のふりかえりで、子どもたちから「〇〇〇がおもしろかった」と元気に言ってもらえ、大人の方々の表情にも満足感が見える時は、本当にうれしいものです。

今日も、葉っぱが紅葉するしくみやいろいろな種の広がり方を、子どもにもわかりやすく工夫した小さな小道具も使いながら楽しんでいただきました。

来月もまた、この難しい課題に挑戦しながら自分たちを磨いていきます。

●アライグマ捕獲罠の巡回ボランティアご協力ありがとうございます



11月1日に実施した講習会と巡回ボランティアの皆さんとの打合せを受け、アライグマを捕獲するはこ罠の巡回を開始しました。友の会からは、上原明子さん、大浦晴壽さん、落合道夫さん、篠原由紀子さん、高橋睦さん、中里幹久さん、村松古明さん、山口隆さん、山路智恵子さん、渡辺美夫さんに巡回ボランティアにご登録いただきました。朝早くから巡回していただいている皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

成果としては、11月5日～30日の期間に、合計8頭のアライグマを捕獲しました。12月に入ってから捕獲数0の状況が続いていますが、これからアライグマとの本気の知恵比べになると思います。罠の設置個所など、ボランティアの皆さんと一緒に試行錯誤しながら進めて行きますが、皆様のご理解、ご協力のほどを引き続きよろしくお願いいたします。

なお、本件について何かお気づきの点などありましたら、担当レンジャー(掛下)までお願いします。

お知らせ・お願い



●園内の工事の予定

横浜市により、下記の園内の補修工事が行なわれます。作業は年明け1月7日から始まる見込みです。

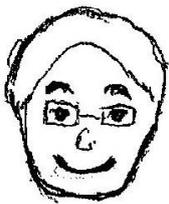
- ◆木道、階段の補修・取替え(コナラの谷、ゲンジボタルの谷、クヌギの林)
- ◆モンキチョウの広場の浸食改善(排水をよくし土砂が流れないように段差をつけます)
- ◆柵・ロープ柵の設置・取替え(生態園、長倉口、いたち川源流沿い)
- ◆野外サイン、解説板の取替え(園内各所)
- ◆環境管理のための伐採 桜林では、園芸種や外来種の樹木の伐採を行ないます(次項)。また、コナラの林等で、自然の植生に悪影響を与えているモウソウチクの伐採を行ないます。

◇このほか、野外トイレの建て替えも計画されていますが、時期は今のところ未定です。

なお、ピクニック広場は引き続き、広域水道企業団による水道施設の耐震工事が行なわれているため、2017年1月31日までの期間、使用できません。

一時的に利用できない箇所が発生する場合には、わかり次第、自然観察センターのウェブページや友の会のメーリングリストに掲載します。何かとご不便になる場合もあると思いますが、利用者の皆さんの利便・安全の改善と環境改善のための作業ですので、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。ご不明の点はレンジャーまでおたずねください。

レンジャー着任ご挨拶



初めまして。齋藤レンジャーの後任として、11月1日付けでアシスタント・レンジャーとして着任いたしました藤村 啓(フジムラ ケイ)です。

出身は神奈川県座間市で、現在もそこから通っています。趣味は野鳥観察や映画鑑賞で、近所には芹沢公園や谷戸山公園があるので休日は散策に出かけています。日本野鳥の会事務局には約2年前に入り、前任地の東京港野鳥公園では展示や団体対応、調査等を担当しておりました。

環境は大きく変わりましたが、勉強をしながら、一日も早くみなさんのお力になれるようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<保全管理計画のフォローアップ>

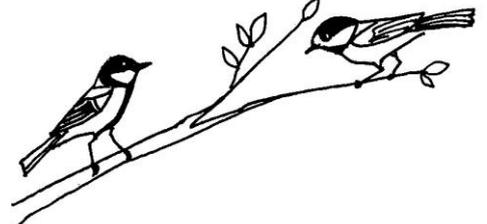
桜林の伐採 桜林では、昨年度、友の会の皆さんに参加していただいて作成した「桜林の保全管理計画実施計画書」で次のような目標を立て、環境管理やモニタリング調査を進めています。

- ・樹林下で自然観察が行なえる、低木のやぶや下草の茂み、林縁や小さな草地を残した、落葉樹主体のまばらな林をめざす。
- ・構成種は在来種とし、この地域に本来生育していなかった種（樹木等）は基本的に除去していく。

これに基づいて昨年度末に引き続き、次のような基準で立木を伐採します。

- ・本来、この地域に生育していなかった樹種（外来種）と植栽由来の常緑樹は、基本的に伐採し、在来種の落葉樹に転換していく。（ヤマモモ、シラカシ、コブシ、クスノキ、サトザクラ、ソメイヨシノ、カスミザクラ）特にシラカシは実生が数多く生じており、自然植生に侵入して広がる恐れが高いため、残さない。
- ・病気（テングス病）や枯れ枝の発生しているものを優先する。（ソメイヨシノ等桜類）

伐採計画の最終的な確認を12/13の検討会で行い、年明けから市の委託した造園業者さん等により行っていきます。計画は園内にわかりやすいように掲示しますが、ご不明の点はレンジャー古南、赤星までお尋ねください。



今後の予定 ★保全管理の検討会★

第6回 2月7日（土） 13:00~16:00

★勉強会 林管理のためのシダ植物入門

ちょっととっつきにくいシダ類の見分け方や生態について勉強します。初心者向けです！

講師 北川淑子さん（多摩丘陵舎）

★年間のまとめ（桜林、炭小屋裏4・9区、7区）

★環境管理に興味のある方ならどなたでもご参加ください。

★資料の準備のため、できるだけ前日までに古南か赤星にご連絡ください。ただし当日参加OKです。

ボランティアさん

10/13 ~ 12/9

ありがとう

- 10/22 雑木林ファンクラブの皆さん：木製楽器（レッチェ）の修理
- 10/15 雑木林ファンクラブの皆さん：企業研修（東京ガスリビング）の炭焼窯見学対応（10/17も）
- 11/1 雑木林ファンクラブの皆さん：明治大学生（藤澤唯さん）の卒業研究に協力（樹木標本の採取）
- 11/8 中里事務局長、事務局内グループ「定点カメラで動物調査」の皆さん、雑木林ファンクラブの皆さん：ボランティア活動の視察の対応（丹沢環境学習ネットワーク）
- 11/12 雑木林ファンクラブの皆さん：薪ストーブ用薪作り
- 11/13 雑木林ファンクラブの皆さん：企業CSR（三菱UFJ信託銀行上大岡支店）の受入協力（標柱作成）
- 11/23 大越哲郎さん、片岡章さん（雑木林ファンクラブ）：団体（神奈川トヨタ株式会社）の炭焼窯見学対応
- 11/30 中里幹久さん、上原明子さん、馬男木嘉久さん、荻野徳嗣さん、水上重人さん（鳥のくらし発見隊）：行事補助（親子でバードウォッチング）
- 12/5 雑木林ファンクラブの皆さん：企業CSR（東芝メモリシステムズ株式会社）の受入協力（標柱作成）
- 10/13~12/9 カワセミファンクラブの皆さん：展示用野鳥等写真、自然情報のご提供
- 10/13~12/9 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん：開花情報のご提供

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

年末・年始の休館のお知らせ

自然観察センターは下記の期間はお休みをいただきます

12/28（日） ~ 1/5（月）

新年は1月6日（火）から開館します。

来る2015年もみなさまどうぞよろしくお願いいたします。



本号のイラスト

大久保香苗（タイトル）

黒川マリア

行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●森の作業体験（間伐体験）→3ページ参照
1/24（土）9：00～13：00
集合：自然観察センター前
対象：小学生以上（中学生以下の方は保護者同伴）
先着10名様
持ち物：作業可能な服装（長袖、長ズボン）、軍手、
スニーカー、帽子、昼食
申込み：参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入
して、電話 045-895-5151 または
E-Mail: yokohama-nc@wbsj.org まで
担当：雑木林ファンクラブ

●森の作業体験（ドラム缶窯での炭焼き）
→3ページ参照
2/21（土）9：00～13：00
集合：自然観察センター前
対象：小学生以上（中学生以下の方は保護者同伴）
先着15名様
持ち物：作業可能な服装（長袖、長ズボン）、軍手、
スニーカー、帽子、昼食
申込み：参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入
して、電話 045-895-5151 または
E-Mail: yokohama-nc@wbsj.org まで
担当：雑木林ファンクラブ

●センター主催行事●

■【親子でバードウォッチング～鳥って何して る？～】

日時：2/21（土）10：00～12：30
（雨天決行）

対象：4歳～中学生とその保護者40名（抽選）

申込締切：2/7

●申込はイベント名、全員の氏名、お子様の年齢、
電話番号、返信先を書いてEメール FAX、往復
はがきで

発行日 2014年12月21日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail: yns_jimu@yahoo.co.jp

この会報は、友の会ボランティアによって作られています。
全頁無断転載を禁じます。

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜
～友の会の活動内容紹介とルールを～
冬の鳥を観察・記録しよう 2/15（日）
9：30～14：00 雨天決行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう（園内の自然案内）
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
1/11（日）・2/1（日）
1回目 11：00～ 2回目 13：00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）
～のんびり楽しむバードウォッチング～
1/11（日）・2/8（日）
9：00～13：00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
1/21（水）・2/18（水）
10：00～12：00 絵本作製
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
1/17（土）・2/21（土）
10：00～12：00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう（園内の自然案内）

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
1/24（土）・2/28（土）
1回目 13：00～ 2回目 14：00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜